

活き活き

互助会だより



第9号 (2017. 01. 25) 発行 (公)福山市シルバー人材センター会員互助会

互助会役員

- | | |
|------|-------|
| 会長 | 矢追 輝美 |
| 副会長 | 矢野 元明 |
| 事務局長 | 小田 学 |
| 幹事 | 西浜 保男 |
| 監査 | 林 操子 |
| 會計 | 山崎 昭孝 |
| 會計補佐 | 竹谷 清人 |
| | 澤田美恵子 |
| | 竹井 和弘 |
| | 上田 功 |
| | 小林 伍治 |

同好会役員

- | | | |
|---------|----|-------|
| ボランテニア | 会長 | 矢野 元明 |
| ふれあい | 会長 | 高橋 和子 |
| ゴルフ | 会長 | 平本喜代二 |
| カラオケ | 会長 | 丹下 融 |
| パソコン | 会長 | 新谷 盛登 |
| 農夢 | 会長 | 上田 功 |
| グランドゴルフ | 会長 | 斉藤 陽亮 |
| 筆耕 | 会長 | 浦部 尚三 |

新年の

ごあいさつ



福山市シルバー人材センター

理事長 赤澤 收

明けましておめでとございます。

互助会の皆様におかれましては、お健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃からのセンターの事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、私もシルバーセンター設立三十周年の節目の年にあたり、九月には会員や関係者の出席のもと、盛大に記念式典を開催することが出来ました。この場をお借りして皆様方にお礼申し上げます。

今年も、次のステップに向けてスタートする年となります。急速に高齢化が進展する中で、社会の活力を維持し成長するためには、高齢者一人ひとりがこれまで培ってきた知識や経験をいかし地域社会の支えとなつて地域で活動しなければなりません。

そのためにも、第二次中期計画に定めた目標に向かって着実に事業を進めていかなければと決意を新たにしているところです。

互助会の会員の皆様におかれましては、一年お元気ですますます活発な活動され、当センターの発展にご尽力いただくことをお願いし新年のあいさつといたします。

新年のごあいさつ

福山市シルバー人材センター

事務局長 浜岡 文雄

明けましておめでとございます。

互助会の会員の皆様には、日頃から、当センターの事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

特に、皆様には、互助会活動を通して、シルバー事業を広く市民の皆様へ周知していただいておりますことをこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

さて、昨年は、当センターの喫緊の課題であります会員の確保の取り組みの一環で、六月の入会説明会から互助会役員の皆様のご協力により新規入会者の互助会の入会促進に取り組んでおります。本年も引き続き進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また、昨年十一月の互助会旅行では、皆様から貴重なお話をお聞かせいただくなど、大変楽しい一日を過ごすことができました。

互助会の会員の皆様には、この一年元気に就業していただくとともに、本年も皆様にとりまして、充実した一年でありますよう祈念申しあげ、新年の挨拶といたします。

あいさつ



互助会会長 矢迫 輝美

あけましておめでとございます。

本年もよろしくお祝い申し上げます。

新しい年を迎え、素敵な人生を送るためにはどんな努力をしたらよいか考えてみました。

- ◎ 自分から心を開く、オープンになる 友達を作る
 - ◎ 相手が楽しめる 話題を進んで提供する サービス精神旺盛
 - ◎ 人間として人から必要とされ 求められることが大切である 生きる力になる
 - ◎ どんなに世の中がコンピューター化されても 最終的には人と人との信頼関係で成り立っている
 - ◎ 人間悩みすぎると 何もかもマイナス面に動く 聞きなおることが一番だ 良い格好しようとする から悩むんだ
 - ◎ 常に好奇心を持ち 好きなものを追及する 相手と自分を褒める
 - ◎ お洒落は 素敵な人になれる
- この一年間、皆様とともに精一杯努力しようではありませんか。



生きる慶び

パソコン同好会会長 新谷 盛登

「あした〜天気になあれ〜」と子供るときはお手々を繋ぎながら、田舎の坂道を我が家に急いだ頃が懐かし、年末には綿入れを纏い、拍子木で夜まわり、寒い中一軒一軒を大きな声で「マッチ一本火事の元」と声を出して歩いた。もうすぐ新しい年が来るのが大変楽しみでした。

成人式が始まり、二回目(昭和二十八年)には、お祝いは印鑑と甘酒だった、と記憶しております。あの日も小雪が降っていた。丸坊主の村長さんの祝辞もありました。

暗い空から雪が舞い落ちるなか、黒い煙を吐きながら停車した機関車に乗り、小さな福塩線の駅を後にしてから幾年過ぎたのだろうか？ 指折り数えて六十数年余り。

福山市の復興は日本鋼管の誘致により一変し、生活も電化の時代へと変化してきました。車社会となり、各家庭に電話が引かれ、挨拶が出来ない人間となり、道徳心が

消えて心寂しい時代となりました。

僕は各家庭を回るガス会社を選択して入社し、参考書等を読み資格を取るまで四年余り頑張りました。一支店を任せられ、定年までの勤めを終え二ヶ年休養し、平成七年十月末、福山市シルバー人材センターに入会しました。多くの会員に守られながら二十年余り、友との出会い、語る喜びそして思い出を多くいただき、僕は幸せ者だと感謝し、この恩に報いることなくこの歳を迎えました。体調も年齢と共に衰えてきました。歴代の理事長さま、局長さまのもとで新鮮な生き方を学び人生の大きな糧をいただきました。

これからもこの教訓を常に念頭におき一步一步進んでまいります。

互助会旅行

竹原の 湯坂温泉郷 賀茂川荘

平成二十八年十一月十二日(土)互助会の親睦旅行が行なわれました。晴天に恵まれ、赤澤理事長さま、浜岡事務局長さまにもご出席をいただき、会員六十六名と一緒に楽しい一日を過ごすことができました。

八時三十分、集日場所を出発し、三台のバスは三原の道

の駅で合流し、小休憩をとりながら、目的の竹原へ向いました。

豊かな木々の緑と色とりどりの花々、ゆったりと錦鯉が泳ぐなかで、千五百坪の日本庭園、まさに小京都ともいえる、竹原の風情ただよう湯坂温泉郷賀茂川荘に着きました。

到着後は、会員さんが一番待ち望んでおられた温泉でした。いで湯に身を任せると心に「和」の心地良さが訪れる、といった体験をされたのではないのでしょうか。

温泉のあと、四季折々の空間と味覚が心の「安」を演出した食事大変好評でした。特に「美味しいお魚料理だった」といった声もあちこちから聞こえてきました。

宴会は、踊り、カラオケで日頃の成果をにぎやかに披露されておられました。時間のたつのも忘れ、次々と歌う会員さんの顔には今日一日、ゆつくりと優美な絵の世界と身近にふれあい、日頃の喧噪を忘れ、心の安らぎを得て、明日への仕事の糧をいただいたのではないかと思います。

バスから降りられるときには、「また来年も元気で旅行に来ましようね」と約束し、足早に家路と向かわれる姿がとても印象的でした。
(文責 澤田美恵子)



同好会近況報告

ふれあい同好会

十月の福山市の福祉祭りに四名参加しました。会員の手づくりのリフォーム小物の販売を通じて、シルバーの普及啓発に努めました。十二月には全員で北部事務所の清掃を行いました。

筆耕同好会

十月にシルバー人材センター主催の宛名書き講習会に参加しました。岡田静子先生をお招きして書道に関して素晴らしい講義を受けました。一・字にはそれぞれ原理・原則がある。二・点画の書き方には基本がある。三・美しく書くには字形の整え方に基本があることなど新しい発見をしました。会員も参加し、共に成長してまいります。

カラオケ同好会

十二月四日の例会は一年の締め括りとして、場所も南蔵王町六丁目のカラオケ喫茶「らくえん」にて開催いたしました。十六名が参加し、日頃の成果を十分発揮され、より親交を深めることができました。



ボランティア同好会

現在、ペットボトルの蓋三〇〇kg、リングプルは十三、八kg、を寄贈させていただいています。ワクチンや車いすの購入資金の一部にあてられ、大いに社会貢献に役立つております。

農夢同好会

作業予定の土曜日になると天気が崩れるというパターン。種まきや苗の植えつけに悩まされました。玉葱はべと病、白菜・大根は奇形を多発、さつま辛・黒豆は質、量ともに感心できないものばかりでした。この状態は農夢会の畑だけではなく、異常気象の仕業の様です。と云って我を慰める今日この頃です。会員募集中です。



グランドゴルフ同好会

会員の皆さんの協力のもと和気あいあいと練習に励んでおります。会員は三十人おります。練習は毎週土曜日で、第二土曜日を月例会として瀬戸福祉センターグランドで行っております。景品は優勝、準優勝、三位、四位、五位、六位、十位、十五位、二十位、二十五位、ブービー賞、月間賞もあります。

ゴルフ同好会

十二月十六日、福山カントリーでゴルフ大会を開催いたしました。今回で百十三回を迎え会員みんな楽しくプレーし、親睦を図ることが出来ました。



た。月一回のコンペ、みんな待ちどおしく楽しみです。これからも健康でゴルフが出来ることに感謝してがんばります。

パソコン同好会

八月から高価なテキストを全員が購入し、早川先生にご指導を頂き、猛勉強して腕前はもう上級になっています。月二回の勉強会は心身の鍛練とやる気を培って笑顔で学んでいます。“ご入会あれ” “一度「見学あれ」と言いたいです。会員二十三名は、今人生最高のゴールテープが風によって靡いています。誰が一番を切るでしょうか？

編集後記

明けましておめでとございます。

互助会だより第九号ができましたので、お届けいたします。

知(得)は読書からです。いまこそシルバー会員にとって一番大切なことは読み、書き、計算といった力ではないかと思っております。

今後も第十号に向けて頑張っております。どしどし原稿をお寄せください。お待ちいたしております。

(互助会だより幹事一同)

